



宇出津病院発

予約制 乗合タクシー 運行実験



つながる

■運行期間 11月2日(月)～1月29日(金) (平日)

■ルート

乗車は病院のみ、降車はルート沿線の自宅近くで、病院から一定区間は降車不可。

Aルート (柳田方面)

病院→柳田→柳田線→兜地→中斉→寺分の沿線

Bルート (国重・松波方面)

病院→国重→山口→秋吉→松波の沿線

Cルート (鶴町・瑞穂方面)

病院→猪平→鶴町・曾又→瑞穂→柏木の沿線

■ダイヤ (病院発時刻、1日3便)

① 10:30 ② 11:30 ③ 12:30

■料金

Aルート：全区間 1,000円

Bルート：源平・国重 500円、山口～松波 1,000円

Cルート：鶴町・曾又 700円、瑞穂～柏木 1,000円

■利用方法

利用したい時間の1時間前までに病院窓口で予約。最大4人、先着順となります。

病院からの帰りの足を確保
「132分待ち」。これは、宇出津発12時40分のバスに乗って、柳田スクールバスに乗り換える場合の柳田バス停での待ち時間です。
柳田地区だけではなく、町内各地からバスを利用して宇出津病院へ通院する場合、朝に比べて帰宅する時間帯の利便性が悪いという現状があります。
病院からの帰りの足を確保し、宇出津病院へ通院しやすくするために、11月から1月にか

けて予約制の乗合タクシー運行実験を実施します。
今回の実験は、利用したいときにいつでも利用できるフルデマンドではなく、時間(ダイヤ)とルートをあらかじめ設定して、利用者がいる場合のみ運行するという形を取ります。また、一部地域(国重・源平)では利用者がいる場合に、病院行きの実証実験を行います。
実証実験終了後は、利用者数や運行経費などの検証を行い、本格運行に向けた協議を行う予定です。

9月号では、町の公共交通の厳しい現状や課題をお知らせしました。バスの未来のため、議論を重ね策定された「能登町地域公共交通総合連携計画」の実証実験が10月から始まります。
地域、施設、人が「つながる」バスへ。実験へのご協力をお願いします。
企画財政課公共交通係 ☎62-8503

バスの 行き先

第2回

実証実験1

宇出津病院発・予約制乗合タクシー・・・P3

宇出津病院から帰宅するための乗合タクシーを運行します。3ルート、1日3便、定員4人で1時間前までに病院窓口で予約します。
〈料金〉500円～1,000円
〈運行期間〉11月2日(月)～1月29日(金)



実証実験2

うちら・柳田線運行実験・・・P4

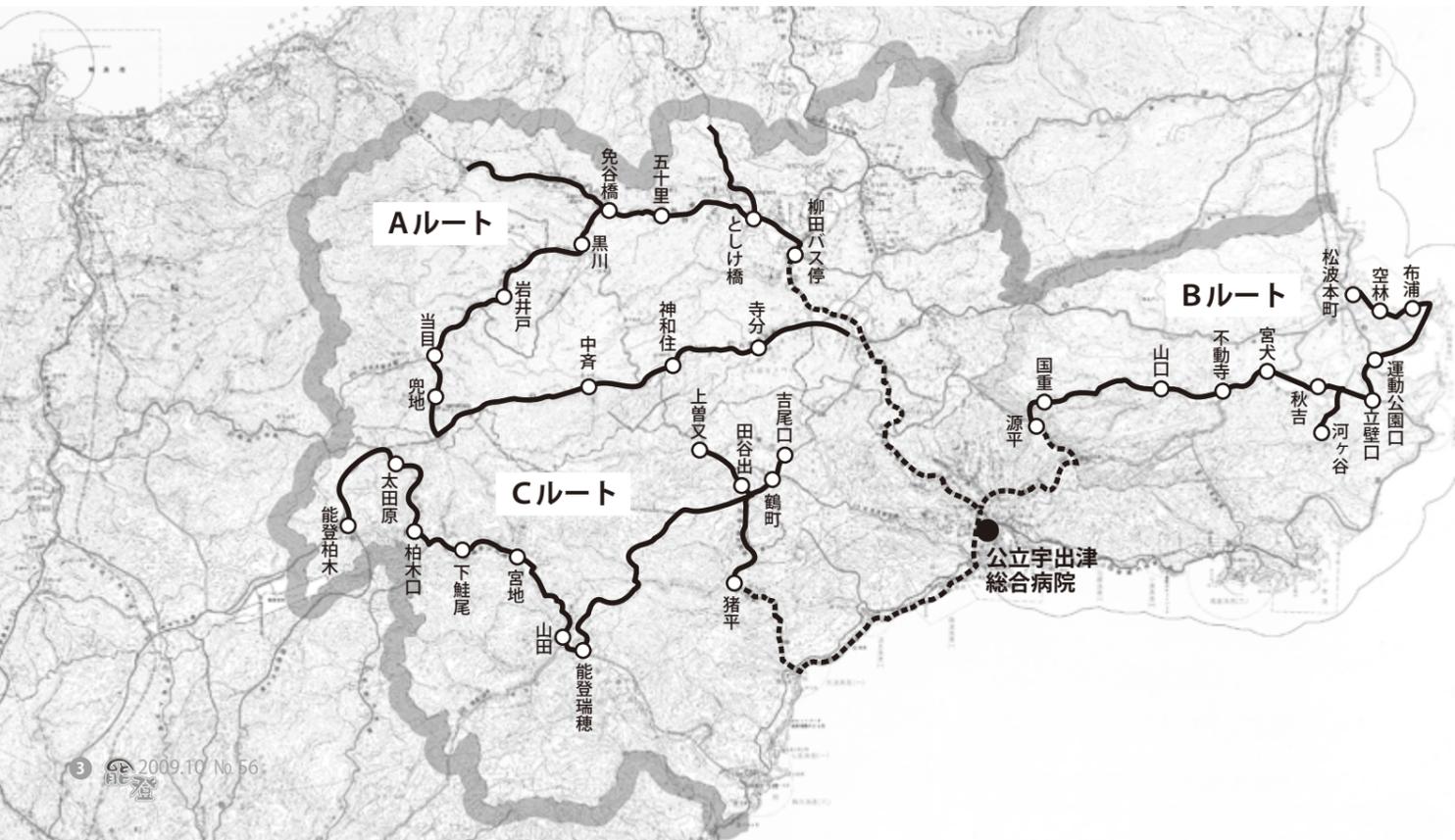
町営駒渡線と柳田スクールバス合鹿久田線を連結し、秋吉・白丸地区まで延伸します。
〈料金〉100円～300円
〈運行期間〉10月1日(木)～3月31日(水)



実証実験3

温浴施設送迎バス運行実験・・・P5

休日運休する柳田スクールバスを活用し、町内4つの温浴施設への送迎を行います。
〈料金〉100円～300円
〈運行期間〉10月1日(木)～3月31日(水)



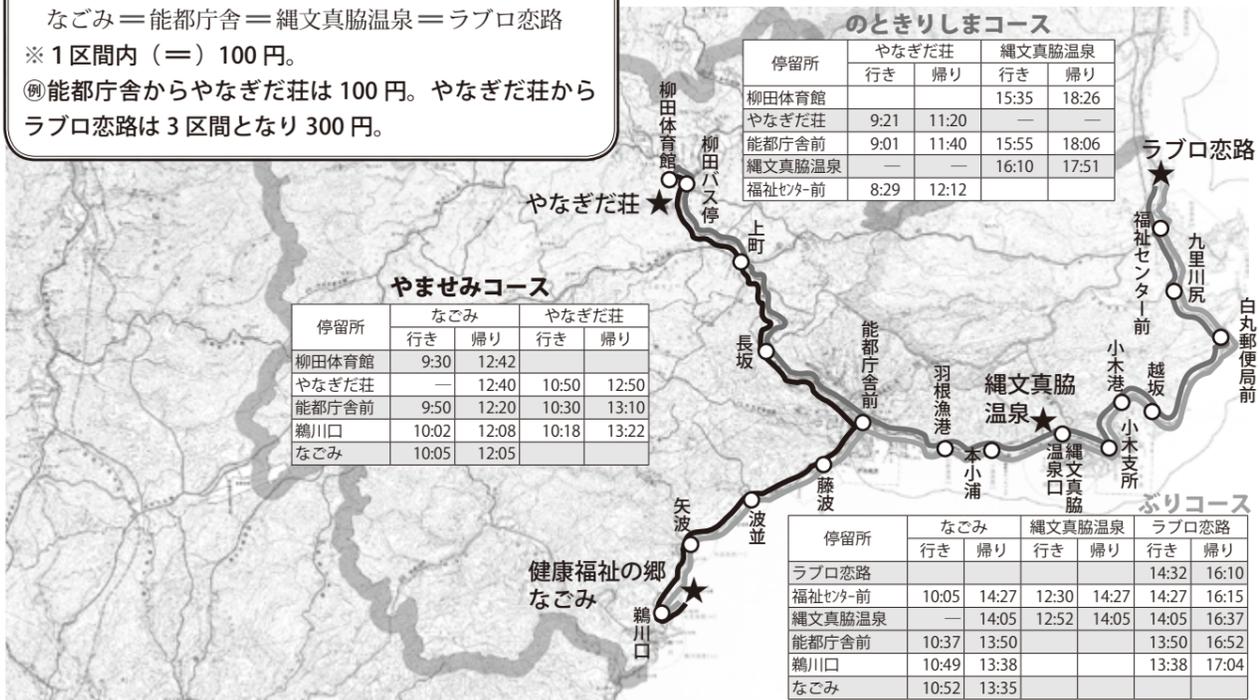


温浴施設 送迎バス 運行実験 (湯めぐりバス)

つながる



- 運行期間 10月1日(金)～3月31日(水) (土・日のみ)
- ルート
指定バス停は、のと鉄道転換バスのルート上は快速バスのバス停。町野線上は柳田、上町、長坂、能都庁舎前。やませみコース (やなぎだ荘↔なごみ) のときりしまコース (やなぎだ荘↔縄文真脇温泉) ぶりコース (縄文真脇温泉・ラプロ恋路↔なごみ)
- 料金 やなぎだ荘
||
なごみ＝能都庁舎＝縄文真脇温泉＝ラプロ恋路
※1区間内(＝)100円。
◎能都庁舎からやなぎだ荘は100円。やなぎだ荘からラプロ恋路は3区間となり300円。



柳田温泉は、アルカリ性の泉質で「湯冷めしにくい。肌がツルツルになる」という意見が多く、特に冬場はお勧めできます。まだ一度も利用したことがない人は、ぜひこの機会に、送迎バスを利用して来館していただければと思います。

今回送迎バスが運行される施設は、温水プールのあるなごみ、露天風呂からの景色がすばらしいラプロや縄文真脇など、それぞれに特徴があります。ほかの施設と相乗効果を生み出すような連携を図り、満足してもらえるよう職員一丸となって受け入れ体制を整えています。

INTERVIEW

能登やなぎだ荘支配人 げん だ や す ひ ろ
玄田泰輔 さん



うちうら・ 柳田線 運行実験

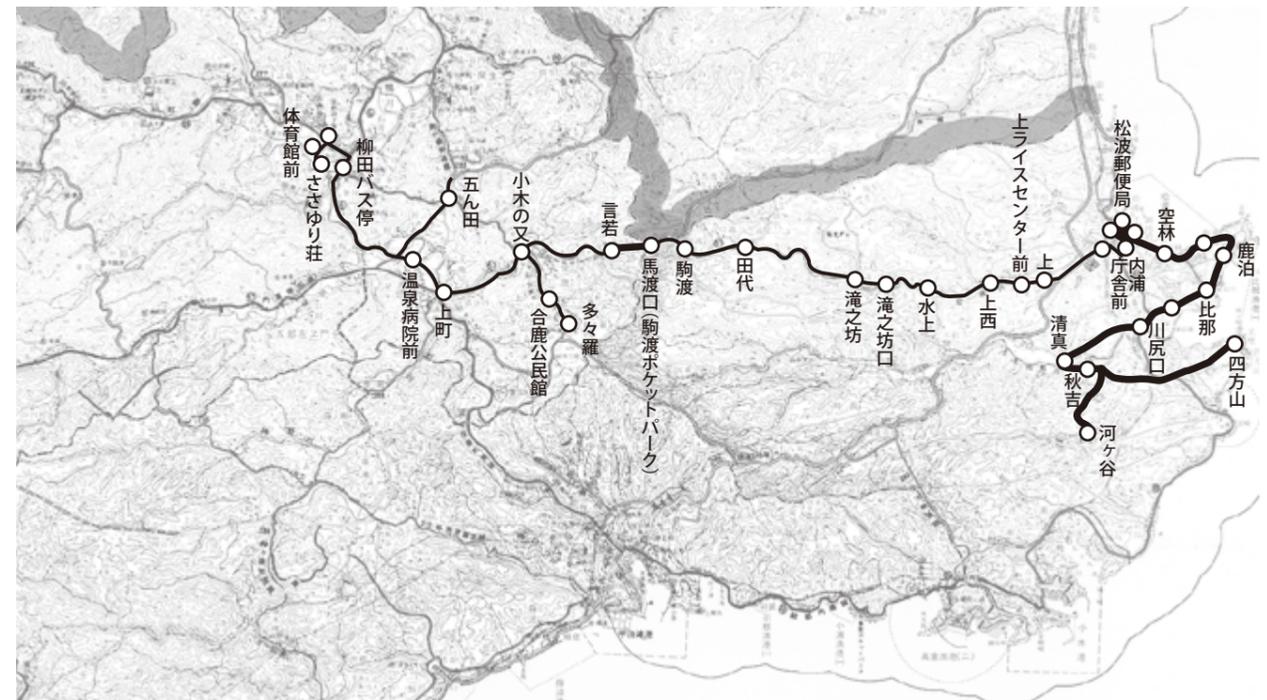
つながる



- 運行期間 10月1日(金)～3月31日(水) (平日)
- ルート (主なバス停)
ささゆり荘—柳田—上町—言若—馬渡口—滝之坊—内浦庁舎前—布浦—運動公園口—秋吉—四方山
- ダイヤ 沿線世帯にはチラシを配布します
- 料金 おおむね5kmまで100円、10kmまで200円、10km以上300円(中学生以下半額、スクールバス区間は小学生無料)

松波—柳田間の移動を確保
町営駒渡線(内浦庁舎前—馬渡口)と柳田スクールバス(合鹿久田線を連結し、松波—柳田間の移動を確保します。また、アンケートでの要望があった駒渡ポケットパークでの特急バスの接続や転換バスへの連結を考慮したダイヤに改正します。

さらに、今まで公共交通空白地帯であった秋吉地区、白丸地区(一部)へも延伸します。料金は今までよりも低く設定し、低料金化の効果も検証します。



今回、10月からバスが通るといふことを知り、地域をあげて本当に感謝しています。今後は、この路線が本格運行となるよう地域住民にバス利用を呼びかけたり、わたしもバスに乗ってほかの路線への接続など利便性を確認するつもりです。飯田高校や能登高校に通学がしやすくなればいいことはありません。

高齢化が進む地域にとって、バスは必要不可欠な移動手段です。今までバスがなく不自由してきたからこそ、バスの必要性、ありがたさを感じています。

秋吉、河ヶ谷、清真地区は長年公共交通の空白地帯で、車のない老人世帯は松波に行くだけでも大変でした。昨年、3地区合同で陳情を行い秋吉にバス停ができましたが、朝7時台の珠洲行きが1本のみで、戻ることができないので非常に使いにくい状況です。

INTERVIEW

秋吉地区区長 やましたしゅうろう
山下秀朗 さん